

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真 後藤
山行NO. 1865	
日時 2020年05月08日(金) 快晴・爽やか	
山域 西丹沢＝西沢・1033m峰西南尾根～東南尾根	
コース 長泉6:40－自然教室発8:13－・1033m峰西南尾根取りつき8:39－・1033m峰9:32～10:23－下山開始－西沢出合11:45－西丹沢自然教室11:50	
標高差 上り 西丹沢自然教室約550m～・1033m峰＝約483m 下り 同上	
快適度 (5段階評価) 5 (ヤブはない)	
参加者 後藤、加藤＝2名	
<h2>・1033m峰下りのリベンジ</h2>	

4月19日(土)、上権現山～畦ヶ丸～・1119m峰～・1033m峰周遊をやった。その時、・1033m峰下りで大チョンボ。3名でGPSもあったのにも関わらず、予定の尾根を見いだせず、正しいルートを下ることが出来なかった。



駐車場はクローズ

何故だろう。下山後、GPS軌跡を見たら、そもそも出だしがおかしかった。本来、・1033m峰から北東方面に下らなければならないのに、東南に下ってしまった。これでは正規ルートに乗れない。結局、相当のアルバイトを強いられ、正規ルートに戻った。

急峻な沢の横断で、非常に危険であった。ルートを外すということは、「遭難予備軍」である。そんなことがあり、頭からそのことが離れない。早くスッキリしたかった。

今週、土曜・日曜の天気が良くなかったので、好天の金曜日に実施。4月19日参加だったI君も誘いたかったが、仕事では致し方がなかった。

コロナで西丹沢自然教室の駐車場はクローズだった。道路わきはOK。平日で車は少なかった。天気は無風快晴。湿度が低く爽やかだった。

西沢をすすむ。二週間前お山は、まだ冬枯れだったが、今日は新緑がまぶしかった。前回、西沢に下りた尾根を過ぎて、・1033m峰西南尾根に取りつく。この尾根は未登だった。取りつきにしっかりした杉道があった。・819m付近まで植林が伸び、その仕事道だった。快適な尾根をグングン上る。昔、伐採で使ったと思われる錆びた滑車・ワイヤーロープが放置されていた。ちゃんと片付けてもらいたい。標高900m付近で植林は終わり自然林になった。いい感じのブナが多くなる。



取りつき



人工的な道



古い滑車

ワイヤー

・1033m峰は簡単に着いた。標高差が500mないからこんなものだろう。頂上は初夏の陽光が溢れていた。K持参の「ナガラミ」に誘われて、ビアを二本やってしまった。

「ナガラミ」＝正式には、「ダンベイキサゴ」(Sea snail・海のかたつむり)。男鹿半島・鹿島灘から九州南部までの沿岸に分布する。分布域では九十九里浜・相模湾・駿河湾・浜名湖など各地で食用に漁獲され、市場にも流通する。軽く茹でてショウガ醤油に浸すなどの料理がある。酒肴や副菜などに用いられる。美味。(ネット)



ナガラミ

さてさて、いよいよ問題の下りである。前回の失敗を踏まえて、北東から進入する。確かに上部は尾根がなかった。しかし、少し下ると左右に沢が流れ、尾根はハッキリ立っていた。

「な、な、な～んだ。えええ～。こんなに簡単だったわけ～」前回のあれはいったい何??!!」「白日夢」「春の蟹気楼」「タヌキ・キツネに騙された!!!」

あまりの楽勝に拍子抜け。もう少し、手ごたえがあると思っていたのに……。その後も全く問題なかった。前回、沢から上がった尾根にすぐ着いた。あんな苦労したのに……。ま、正しいルートとは、こんなものだろう。



前回、西沢に下りた、標高約720m峰着。今回は、西沢出合まで尾根を下る。下部は杉の植林地だった。杉道があったので、どこに出るか確かめるべく下る。道は忠実に西沢出合に続いていた。ただ、



地図を読む



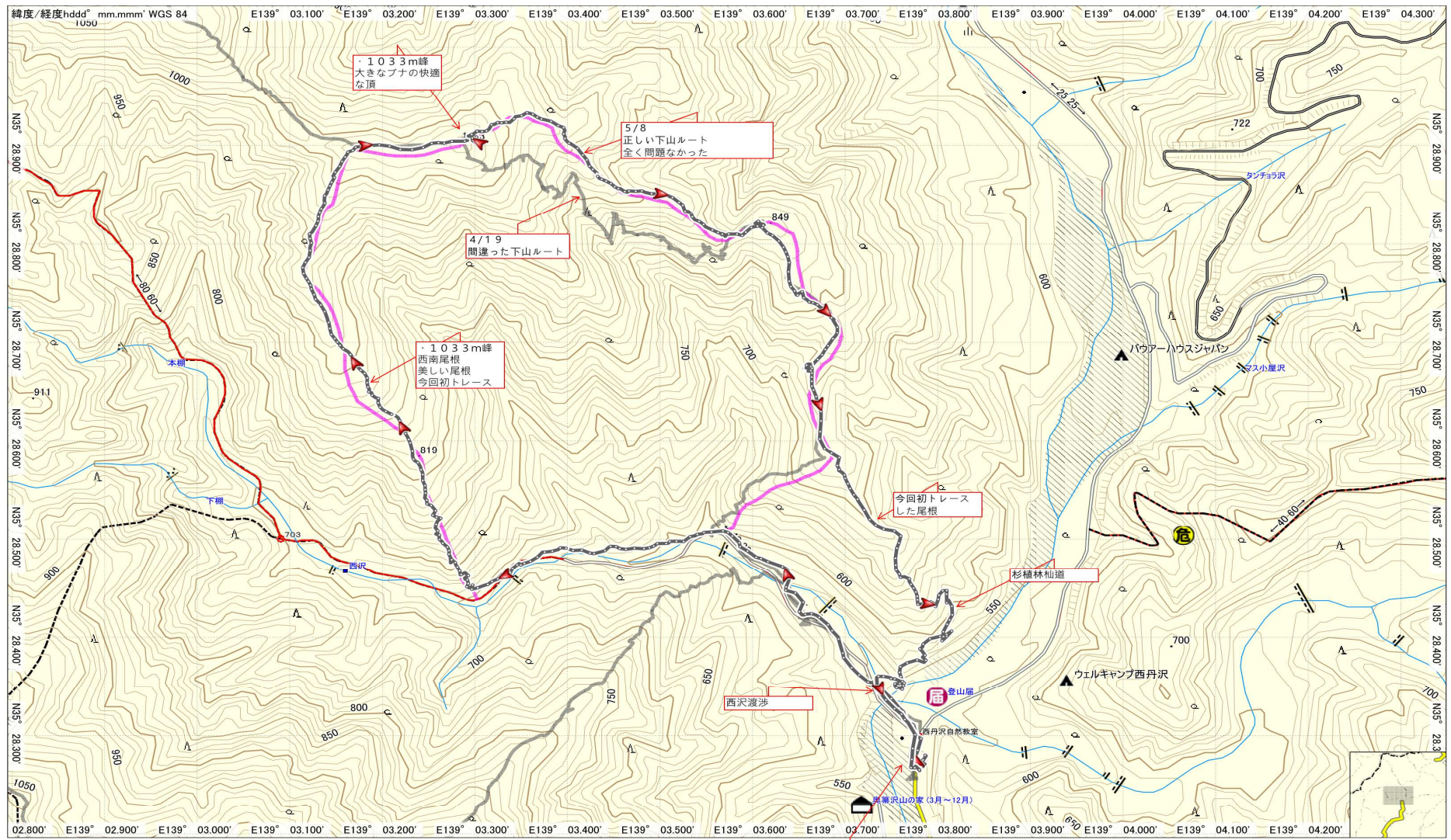
西沢を渡る

沢に橋がないから、微妙なバランスで対岸に渡った。ちょっと、ヌルヌルしていた。

何とか無事終了。吊り橋を渡ると、キャンプ場にテントが数張あった。みんな自然が好きなんだね。コロナに負けるな～！！自然教室の路上駐車場は朝と打って変わってイッパイだった。平日だが、「ヒマな方」は、多いようだ。

今回は、天候・仲間に恵まれ、「気になっていた宿題」が終わって良かった。

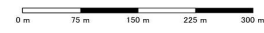
(了)



Japan Topo 10M Plus V3
 Clarendon/MapInfo Co. Ltd 2014
 Garmin Corporation 1989-2014

2020/05/09 6:14:47

S・G 標高約550m



GARMIN

